

ごあいさつ



平素より、私ども静岡県労働金庫をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当金庫の事業の状況をご案内するため、本年もディスクロージャー誌「静岡ろうきんレポート」を作成いたしました。多くの皆さまにご高覧いただき、当金庫に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

私たちは、第4期中期計画(2021-2023年度)『Connect R70』の3年間を通じ、静岡県労働金庫 創立70周年記念事業として、今日までの発展に感謝し、会員とともに運動と事業の発展に向けた諸施策を検討・実施してまいりました。未来を志向して取組んだ本記念事業は、会員や勤労者の皆さまをはじめ、地域の方々のご理解とご協力により無事終了することができました。2023年12月、融資残高が初めて1兆円の大台を超えることができましたのも、70年の歴史の中で常に会員の皆さまと役職員が協働し、はたらく仲間の夢の実現をお手伝いするという福祉金融機関としての役割を

発揮してきた成果であり、福祉事業団体・地域との連携や勤労者の皆さまとの“つながり”によるものと認識しております。これまでの皆さまの格別なるご理解とご協力で改めて感謝を申し上げます。

勤労者を取り巻く環境は依然として厳しく、先行き不透明な状況が続いています。当金庫は2024年度より新たな中期計画『en 縁』(2024-2026年度)をスタートさせており、前中期計画『Connect R70』においてつながったはたらく人とその家族の皆さま、地域の人びととの「縁」をさらに浸透させていくことをめざしております。「ろうきんの理念」・「ろうきんの存在意義」や「グッドマネーの循環」という“ろうきんらしさ”をひとりでも多くの方にご理解・共感いただくことで「ろうきん運動」の浸透を図り、ろうきんに関わるすべての人びとの「しあわせ」をめざして邁進してまいります。

今後とも皆さまの変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2024年7月

理事長 増田泰孝